

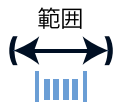
## ニロ<sup>®</sup> 42

### ▶ 主な特長

超低温から約300 °C (570 °F) まで名目上一定した低熱膨張率を維持

重要 御社のご希望に合わせた機械的特性で製造いたします

## お客様への利点



範囲  
0.025mm~21mm  
(0.001"~0.827")



3mから3t (10 ftから6000  
Lbs) までのご注文



納期:3週間以内



御社の仕様に沿った特注ワイヤー



E.M.Sもご利用いただけます



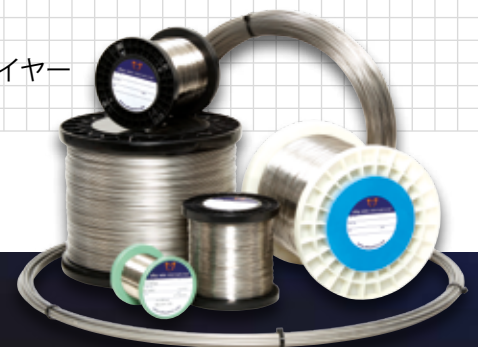
テクニカルサポート

### ニロ<sup>®</sup> 42 販売形態

- 丸線
- バー、カット済みワイヤー
- 平線
- 成形ワイヤー
- ロープ/素線

### パッケージ

- コイル
- スプール
- バー、カット済みワイヤー



\*Special Metals Group of Companiesの商号

化学組成			仕様	主な特長	標準的用途
素子	最小%	最大%	ASTM F30	超低温から約300℃ (570°F) まで名目上一定した低熱膨張率を維持します。	半導体リード・フレーム サーモスタット・ロッド 多様なガラスと金属の接点 シール
Ni	41.00 nominal		指定		
Fe	BAL				
Mn	-	0.80	W.Nr. 1.3917 UNS K94100 AWS 091		
Si	-	0.30			
C	-	0.05			
Cr	-	0.25			
P	-	0.03			
S	-	0.03			
Al	-	0.10			

密度	8.11 g/cm <sup>3</sup>	0.293 lb/in <sup>3</sup>
融点	1435 °C	2615 °F
変曲点	370 °C	700 °F
熱伝導性	10.5 W/m・°C	72.8 btu・in/ft <sup>2</sup> ・h °F
膨張係数	5.3 μm/m °C (20 – 100 °C) 4.5 – 6.5 μm/m °C (20 – 300 °C)	2.9 x 10 <sup>-6</sup> in/in °F (70 – 212 °F) 2.5 – 3.6 x 10 <sup>-6</sup> in/in °F (70 – 572 °F)

#### 仕上がったパーツの熱処理

ニロ合金は通常、焼きなまし状態で提供・使用されます (残留冷間加工により熱膨張率に影響が出ます)。  
焼きなまし時間は部分の厚さによって異なる場合があります。

タイプ	温度		時間 (時間数)	冷却
	°C	°F		
焼きなまし	850 – 1000	1560 – 1830	0.5	空気または水

状態	性質			
	伸張強度 (近似値)		動作温度 (近似値)	
	N/mm <sup>2</sup>	ksi	°C	°F
焼きなまし	450 – 550	65 – 80	～まで+300	～まで+570
硬引き	700 – 900	102 – 131	～まで+300	～まで+570

上記の伸張強度範囲は典型値です。異なったものをご希望の場合はお尋ねください。